

ニュースクリップ & 映像教材

- 第56回「放送教育研究会全国大会」開催
- 第12回「日本教育メディア学会年次大会」開催
- 平成17年度「国際シンポジウム」開催
- 第12回「マイタウンマップ・コンクール」参加作品募集
- 「第17回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集開始

AV情報

■第56回「放送教育研究会全国大会」開催

全国放送教育研究会連盟主催による標記大会が、「進む放送のデジタル化と放送教育の新たな展開～地上デジタル放送の教育的可能性を探る～」をテーマに開催される。

大会では、2003年12月に3大都市圏で開始された「地上デジタル放送」の全国への広がりを踏まえ、それを利用した授業研究の成果を紹介する。

〈開催期日〉

平成17年10月28日（金）・29日（土）

〈開催会場〉

東京都内各会場園・校（港区立神応小学校他）、NHKみんなの広場ふれあいホール（渋谷区神南2-2-1）他

〈内容〉

【10月28日】

○公開保育・授業／授業別研究交流会：公開された授業の番組活用法・展開・児童生徒の反応・番組内容などについて、授業者、指導講師、番組制作者、参加者が質疑応答・協議を通して意見交流を行う。

【10月29日】

○実践研究交流会：全国から放送番組やデジタル教材を活用した優れた実践が提案される。交流会では、参加者の意見をもとにテーマにそって提案の趣旨をより深める。

○総合全大会：全国放送教育研究会連盟基調提案／NHKプレゼンテーション／シンポジウム他

〈問い合わせ先〉

全国放送教育研究会連盟
〒150-8001 渋谷区神南2-2-1
NHK事業局内
TEL 03-5455-4310

FAX 03-3481-1372

<http://www.nhkk.or.jp/>

■第12回「日本教育メディア学会年次大会」開催

日本教育メディア学会では、「教育メディア研究の学術的水準を高め、その普及発展を推進する」ことを目的に標記大会を開催する。

〈開催期日〉

平成17年10月1日（土）・2日（日）

〈開催場所〉

東京学芸大学
東京都小金井市貫井北町4-1-1

〈内容〉

○自由研究発表／ポスターセッション

○課題研究：①「デジタル時代における学校放送の役割」②「教育メディア研究の国際協力」③「生涯教育とメディアの活用」④「メディアリテラシー再考—携帯電話の教育的功罪—」

ブックレビュー



「メディアリテラシーの工具箱 テレビを見る・つくる・読む」

東京大学情報学環メプロジェクト・(社)日本民間放送連盟編
(財)東京大学出版会 2005年7月刊
A5判 208頁 2,625円(税込)

ちょうど良いときに出た本といえる。小・中学校の国語科や社会科教科書に番組作りが入り、教育現場で映像作りや放送に関心が集まっているためである。今まで、視聴覚教育や放送教育に縁遠かった国語や社会の先生たちが、ビデオカメラの操作や編集に取り組んでいる。すでに映像を作った先生も、児童・生徒の作品を学校外で見てもらう方法を探し始めている。この本は、東京大学のメプロジェクトで、映像を作り、放送した教師・テレビ局員・研究者が書いている。タイトル通り「工具箱」のような本である。読み方、つくり方、見せ方を中心にカメラワークから企画書の大切さ、制作者の意図について述べてある。実践した教師や学校と協力して番組作りに苦労したテレビ局員

が書いているため、番組の意図や表現したいことを達成するために何をすべきかが書かれている。技法部分も、制作者が自らの意図を表現するために書いているため、類書に比べ説得力がある。ブックリストやウェブリストもよくアクセスするところが紹介されているといえる。理論編も具体的な問題にとどめてあり、読みやすい。また、作品がDVDとしてついているので、放送局との協力や実践過程を映像で見ることができる。今、映像制作に取り組んでいる人やこれから取り組もうかと考えている人が、やりたいこと、知りたいことが入っている本といえる。そして、この道具で作るのは、テレビの近未来のあり方だけでなく、市民社会のあり方であることが描かれている。(村野井均)

○シンポジウム：①「高等教育の改革とメディア」②「学習の原点とコンピュータ」

○特設・討議セッション：「いちおし！ Quality Teacher/Education/Training—私の〇〇授業・研修、改革事例（含高等教育）—」

〈参加申し込み〉

ホームページより申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、下記問い合わせ先まで郵送する。非会員も参加可。

〈問い合わせ先〉

日本教育メディア学会事務局
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学内
TEL 042-329-7694
FAX 042-329-7692

<http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/>

■平成17年度「国際シンポジウム」開催

(独)メディア教育開発センターでは、国内外から高等教育

におけるeラーニングの質保証に造詣の深い有識者を招き、高等教育の国際展開に伴うカリキュラムの相互認証や単位互換に関する国内および国際的なポリシー、eラーニングの提供における質保証のための枠組みの開発手法、インストラクショナルデザインの活用およびeラーニング実施のガイドライン導入といった幅広い観点から議論を展開すべく標記シンポジウムを開催する。

〈開催期日〉

平成17年11月9日(水)・10日(木)

〈開催場所〉

(独)メディア教育開発センター制作棟ホール
千葉県千葉市美浜区若葉2-12

〈内容〉

【11月9日】

○基調講演：「高等教育における国際及び国家レベルの質保証

(仮)」木村孟氏((独)大学評価・学位授与機構長)

○セッション1：「国際的なeラーニングの質保証」大森不二雄氏(熊本大学大学教育機能開発総合研究センター教授)他
【11月10日】

○セッション2：「eラーニングの質保証におけるインストラクショナルデザインの役割」鈴木克明氏(岩手県立大学教授)他

○セッション3：「機関レベルの高等教育eラーニング運営とガイドライン」Dr.何克抗氏(中国・北京師範大学教授)他

○総括討論：「国際的なeラーニングの質保証に向けて」青木久美子氏((独)メディア教育開発センター助教授)他

〈問い合わせ先〉

(独)メディア教育開発センター
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉2-12 普及促進部企画課

トピックス

コミュニティFM放送局「えふえむ・エヌ・ワン(FM-N1)」が2年連続ギャラクシー賞を受賞

金沢工業大学が中心となって石川県石川郡野々市町や地域の企業と共に第3セクターとして作ったFM局「えふえむ・エヌ・ワン」(<http://www.eagle-net.ne.jp/fmn1/>)は、野々市町を中心に金沢市、白山市まで毎日電波を発信する全国で初めてのキャンパス内のFM局。同局の番組作りには、多数の学生や地域の住民からなる“えふえむ・エヌ・ワンサポーター”も参加している(登録者780名)。リスナ

ーがそのまま作り手になるという画期的なシステムで、これは全国的にみても珍しいケースである。番組は70%以上を自社制作しており、その他はJ-WAVEを受信、放送している。ここ1年間での番組出演者は17,955名。放送した曲数は56,460曲。

同局の番組「ストア!オールディーズ」(毎週金曜正午~午後1時)が平成16年度ギャラクシー賞ラジオ部門選奨を受賞した。ギャラクシー賞とは、放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するための賞で、同局は15年度の応募番組「PMC団塊の応援歌~想い出の音楽とともに~」に続き連続して受賞した。PMC(ポピュラー・ミ

ュージック・ステーション <http://www.kanazawa-it.ac.jp/pmc/>)とは大学内ライブラリーセンター3階に位置し、ロックやジャズ、ポップス等をはじめとするLPレコード16万5,000枚を所蔵し、番組で放送する他、検索システムも整備されているため一般の方も鑑賞することが可能。

なお、2年連続のギャラクシー賞受賞は、コミュニティ放送局では初めてで、ローカル局でもまれである。



調査・国際部門

TEL 043-298-3085

FAX 043-298-3629

<http://www.nime.ac.jp/conf2005/>

コンクール情報

■第12回「マイタウンマップ・コンクール」参加作品募集

マイタウンマップ・コンクール実行委員会ならびに(財)情報処理教育研修助成財団主催による標記コンクールの参加作品の募集がまもなく開始される。〈募集作品内容〉

マイタウンマップ・コンクールは、ただ単に地域の交通網や公共施設などを記した「地図」を作るコンクールだけを求めているわけではない。作者が学校や家庭、職場で学んでいること、また、グループで共同研究した成果など、自分たちが住んでいる街や村の暮らしぶり、地域の特性・特色や魅力といった身の

回りのあらゆる生活情報を素材にして、絵・写真・文章・地図・音楽などで表現したものを募集する。

〈制作機種〉

制限はないが、機種依存しないものに限定する。

〈応募受付期間〉

平成17年10月1日~12月31日

〈受賞作品発表〉

平成18年2月中旬を予定

〈問い合わせ先〉

ホームページより問い合わせのこと。

<http://www.mytownmap.or.jp/outline/index.html>

各地の情報

■「第17回兵庫県丹波篠山ビデオ大賞」参加作品募集開始

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会では、標記コンテストの参加作品の募集を開始した。

〈部門別テーマ〉

◇グランプリ部門(各8分以内)
テーマ①「いっしょに生きる」
テーマ②「心のふるさと」
テーマ③「私が見つけた丹波篠山」

◇デビュー部門(3分以内)
テーマの制限はなし。

〈応募締め切り〉

平成17年11月30日(水)

〈応募・詳細問い合わせ先〉

丹波篠山ビデオ大賞実行委員会事務局 〒669-2206 兵庫県篠山市西吹88-1 篠山市視聴覚ライブラリー内

TEL 079-590-1301

FAX 079-594-5450

<http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/videocon>

訃報

■日本視聴覚教育協会元理事の田中正吾氏(大阪大学名誉教授)が、7月19日ご逝去された。享年87歳。